

第15回 スーパー・メガリージョン構想検討会

名古屋市の取組発表

世界に冠たる「NAGOYA」の実現に向けて

平成30年11月16日

発表の構成

名古屋を
取り巻く状況

名古屋市の
構想・取組み

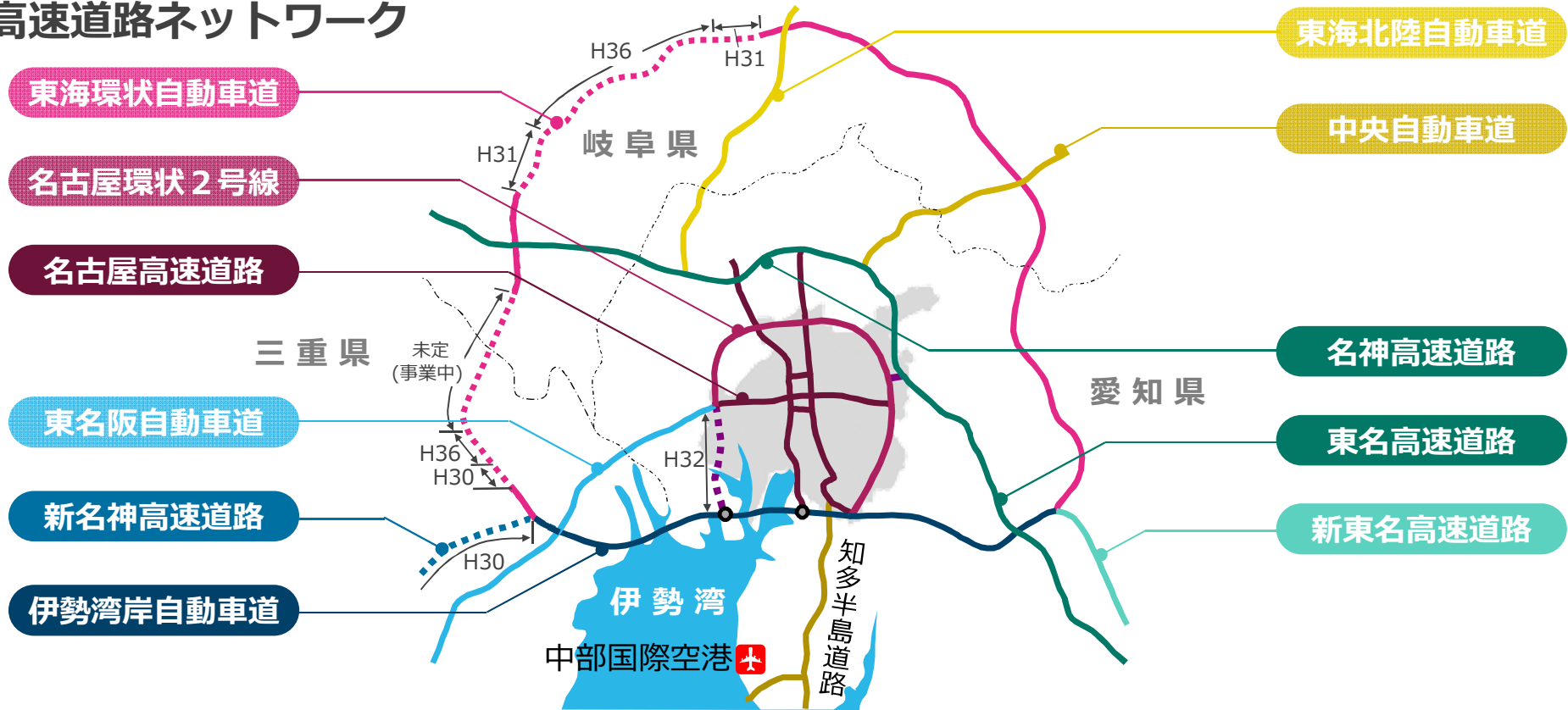
まとめ

- ① 名古屋の強み ▶
- ② 名古屋市におけるSMRの意義 ▶
- ③ 名古屋市・名古屋大都市圏の役割 ▶
- ④ 基本目標 ▶
- ⑤ 実現に向けた取組 ▶
- ⑥ まとめ

1 名古屋の強み

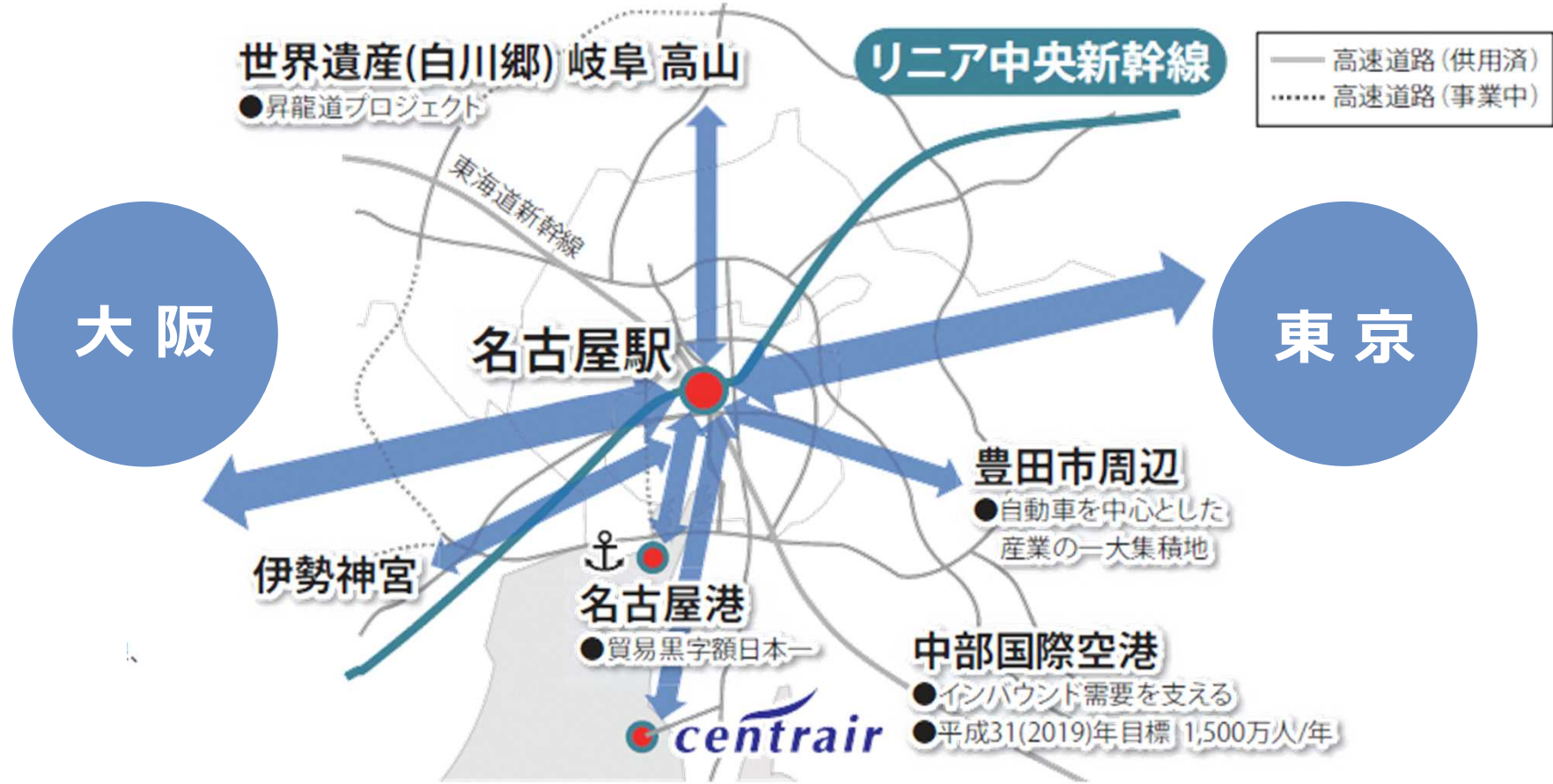
日本の中央／広域的な交流ネットワークの中心

高速道路ネットワーク



① 名古屋の強み

日本の中央／広域的な交流ネットワークの中心



1 名古屋の強み

世界レベルの産業技術の集積による強い経済力

名古屋大都市圏では自動車産業や航空機産業をはじめとする世界レベルのものづくり産業が集積しており、名古屋市は**世界最強・最先端のものづくり圏域の中核都市**

<代表的なものづくり企業>



- 自動車産業
- 航空機産業
- 上記以外

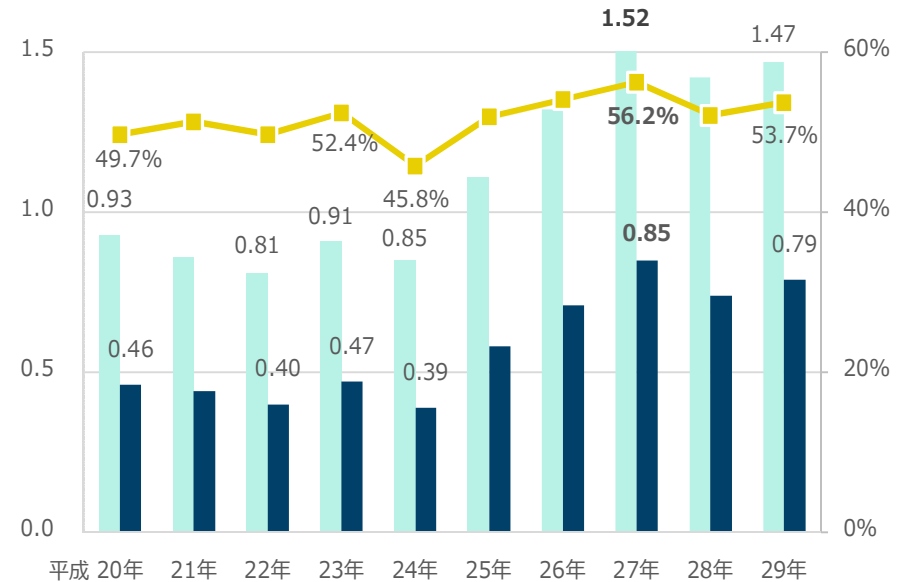
1 名古屋の強み

世界レベルの産業技術の集積による強い経済力

名古屋大都市圏では自動車産業や航空機産業をはじめとする世界レベルのものづくり産業が集積しており、名古屋市は**世界最強・最先端のものづくり圏域の中核都市**



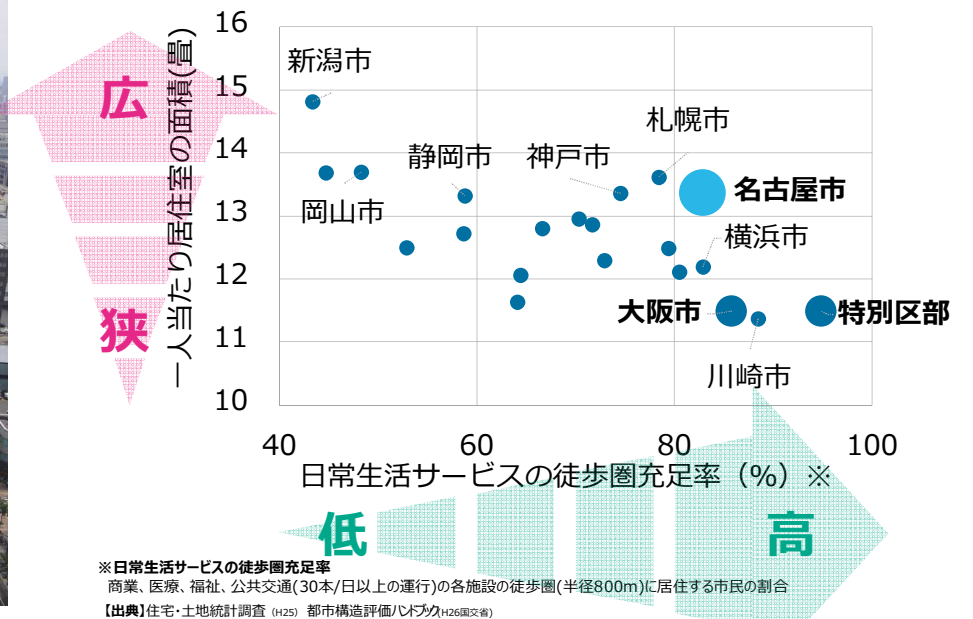
<航空機・部品の生産額及び中部5県の全国シェア>



1 名古屋の強み

ゆとりがあり住みやすい

- ・計画的なまちづくりにより広い道路、公園や居住スペースが確保され、**空間的なゆとり**がある
- ・大都市の中では通勤時間が短く、身近に生活利便施設が充実しており、**時間的なゆとり**がある
- ・子育て環境、生活の便利さ・快適さに関する市民の満足度が高く、**住みやすいまち**



1 名古屋の強み

豊かな文化

徳川家康が名古屋城の築城を開始して以来、**武家文化**や**ものづくり文化**、**食文化**などの豊かな文化を育み、現在の名古屋の魅力や活力の礎となっている



千年先へ伝えてゆくもの



近世城郭御殿の最高傑作。「絢爛披露」
10年の復元計画により甦る。

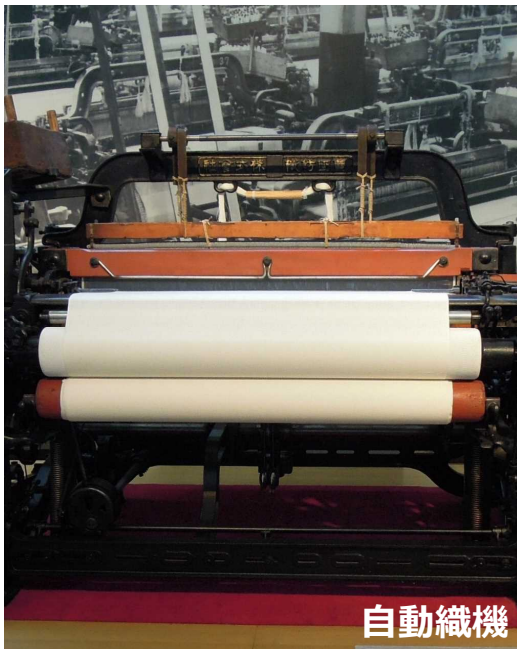
〔公益財団法人 名古屋観光コンベンションビューロー〕

現在、名古屋のシンボルである名古屋城天守閣の史実に忠実な木造復元を進めている

1 名古屋の強み

豊かな文化

徳川家康が名古屋城の築城を開始して以来、**武家文化**や**ものづくり文化**、**食文化**などの豊かな文化を育み、現在の名古屋の魅力や活力の礎となっている



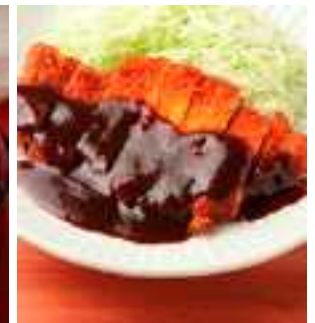
自動織機



からくり

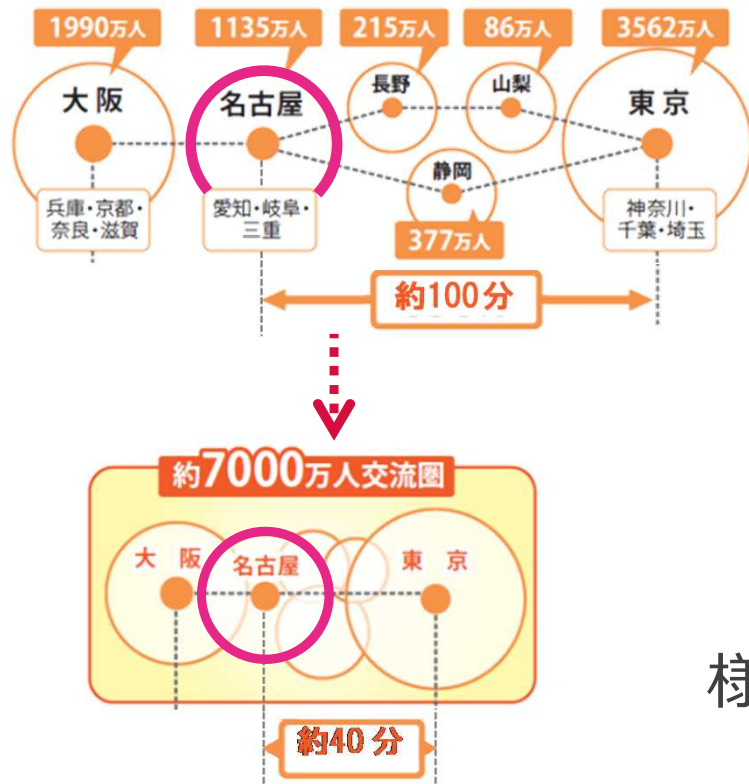


名古屋めし
SAMURAI CUISINE



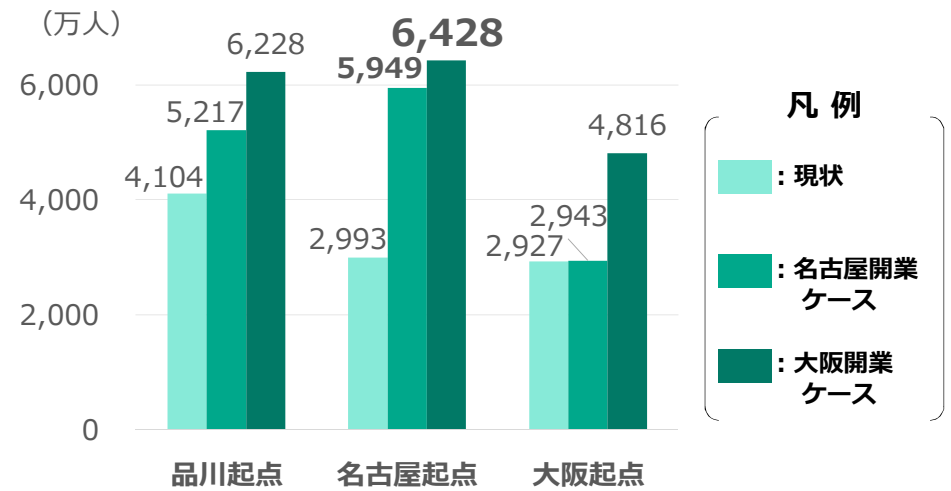
2 名古屋市におけるSMRの意義

移動時間の短縮



交流圏の拡大

<リニア中央新幹線開業後の2時間交流圏の比較>



様々な分野で、世界から人を惹きつける
国際都市へと成長する可能性がある

3 名古屋市・名古屋大都市圏の役割



名古屋大都市圏

圏域の持つ多様な
個性・ポテンシャルを最大限に活用

世界における日本の相対的な地位を押し上げる

名古屋市

国内・海外と圏域 を行き来する人を	ものづくり文化 の中核として	東京圏に 集中する
円滑につなぐハブ ・呼び込むコア	世界の成長を 先導	機能の補完・ 分散の受け皿

4 基本目標

国内外のヒト・モノ・
カネ・情報が行き交う
交流拠点都市の実現

我が国の
人流・物流を支える
強くしなやかな都市の実現

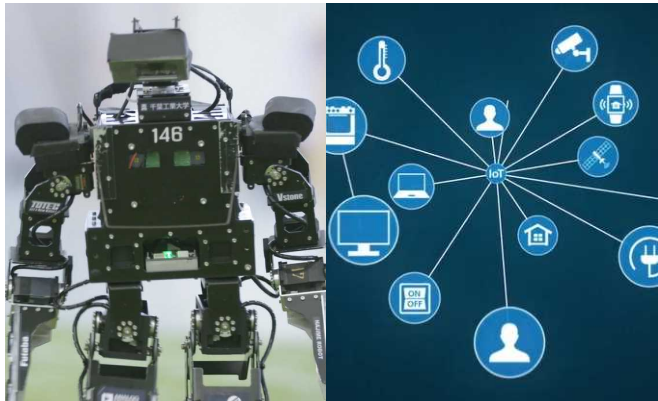
4 基本目標

国内外のヒト・モノ・カネ・情報が行き交う

交流拠点都市の実現

イノベーションを 創出するまち

- ・ 交流の促進、先端技術の活用による新たな価値の創出



賑わいが あふれるまち

- ・ 国内外の観光客が訪れる目的地やMICEの開催地



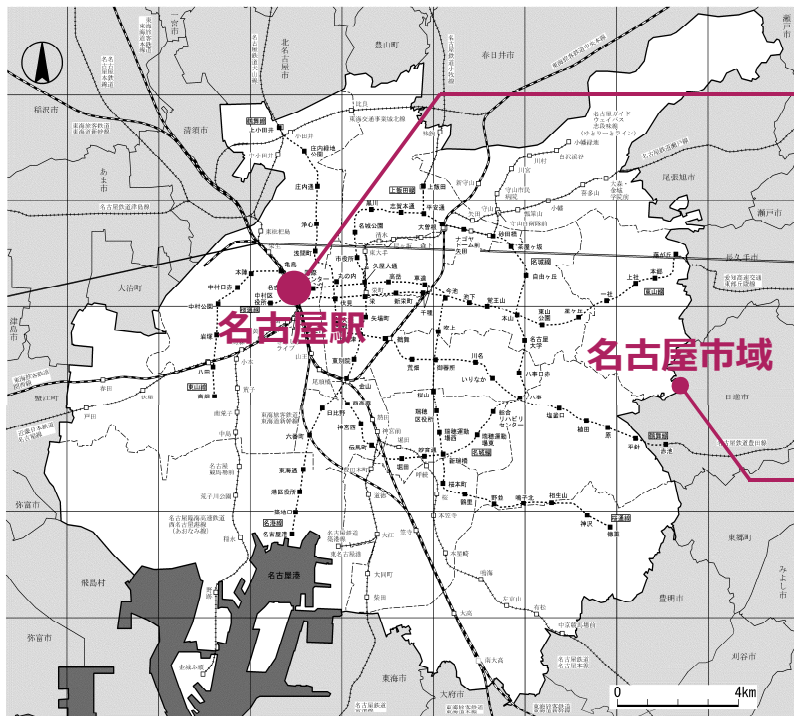
国内外の企業や人から 選ばれるまち

- ・ 子どもや親を応援し、未来を担う人材を育成



4 基本目標

我が国の人流・物流を支える
強くしなやかな都市の実現



国際レベルのターミナルをつくる

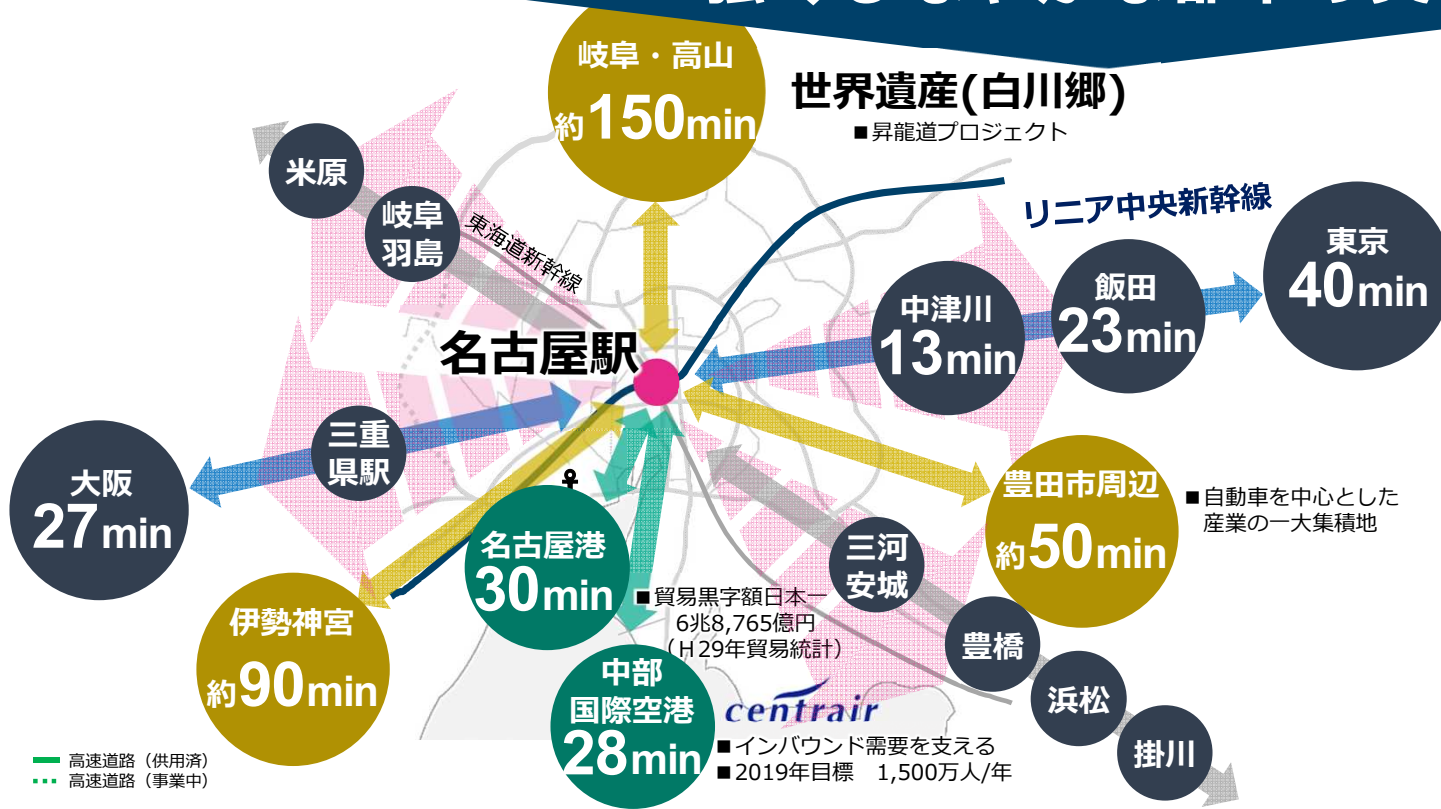
- ・ 国際的・広域的な役割を担う圏域の拠点、顔をめざす

災害に対する強さとしなやかさを備える

- ・ 国内外から信頼される拠点都市をめざす
- ・ 首都機能をバックアップする機能も果たす

4 基本目標

我が国の人流・物流を支える
強くしなやかな都市の実現



活動する人々が快適に移動できるまちとなる

- ・東西の中間駅と連携する
- ・市域内の回遊性、市域外の拠点都市とのアクセシビリティを高める

日本の成長をけん引する

- ・中部国際空港の機能を高める (二本目滑走路)
- ・貿易黒字額日本一の名古屋港の機能を高める

5 実現に向けた主な取組

交通基盤

スーパーハブ
としての機能強化

まちづくり

都心のリノベーション
をはじめとする
都市機能強化

イノベーション

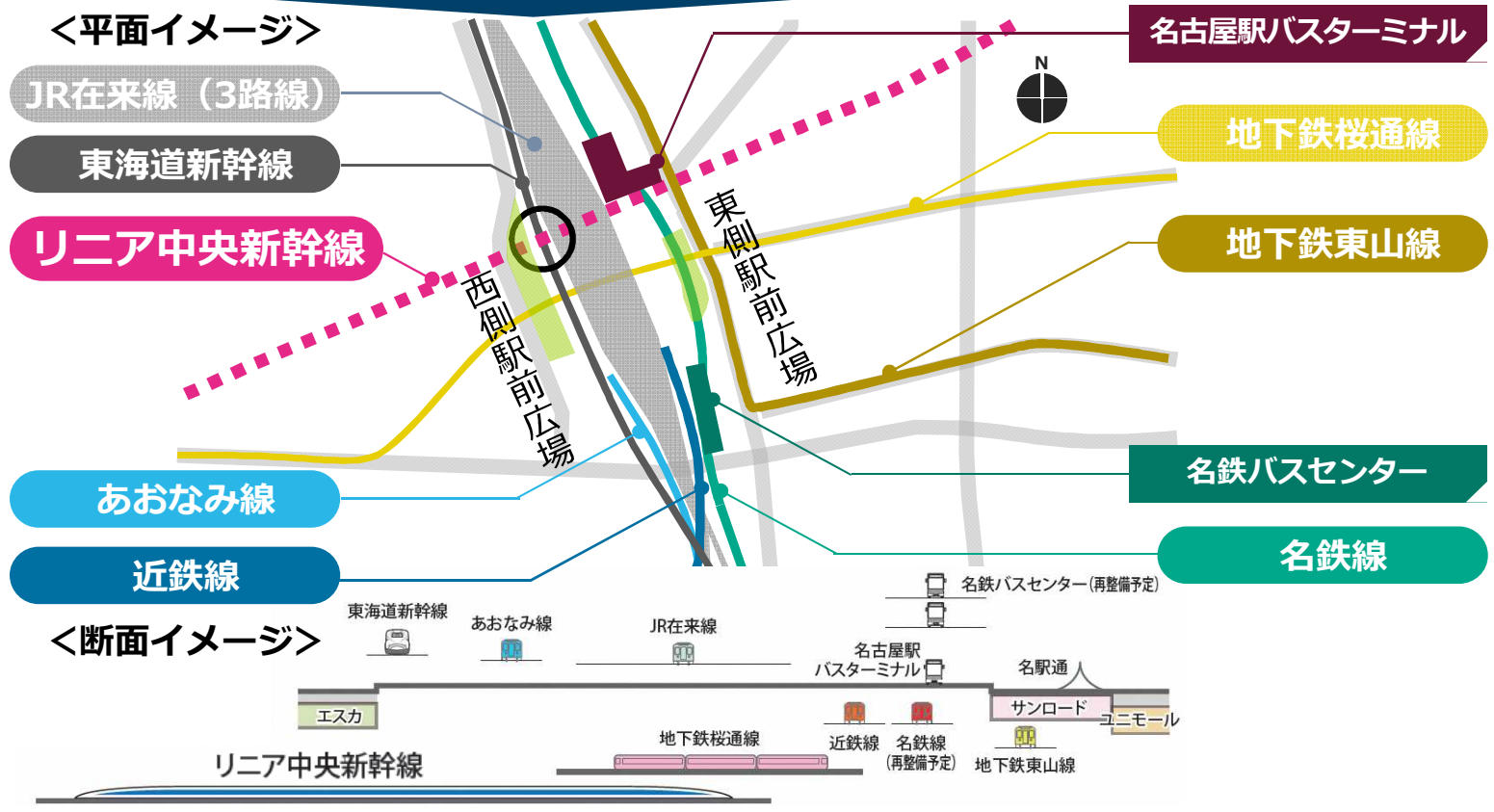
多様な主体の
交流・連携による
新たな価値の創出

5 実現に向けた主な取組

交通基盤

名古屋駅の状況

・10の鉄道路線が乗り入れ、中部国際空港・名古屋港とつながるトップクラスのターミナル駅



5 実現に向けた主な取組

交通基盤

リニアと各交通機関の結節性を確保

- ・スムーズでスピーディな乗換利便性を確保し、リニアの速達性を最大限活かす

乗換主動線の直線化と円滑化

- ・複数の交通施設の乗換主動線を出来る限り直線化し、わかりやすく、利用しやすい乗り換え空間を実現



写真提供（協力）
 *1：東海旅客鉄道株
 *2：名古屋鉄道株
 *3：名鉄タクシーホールディングス株
 *4：近畿日本鉄道株
 *5：名阪近鉄バス株
 *6：名古屋臨海高速鉄道株
 *7：中部国際空港株

5 実現に向けた主な取組

交通基盤

駅とのアクセス性の向上

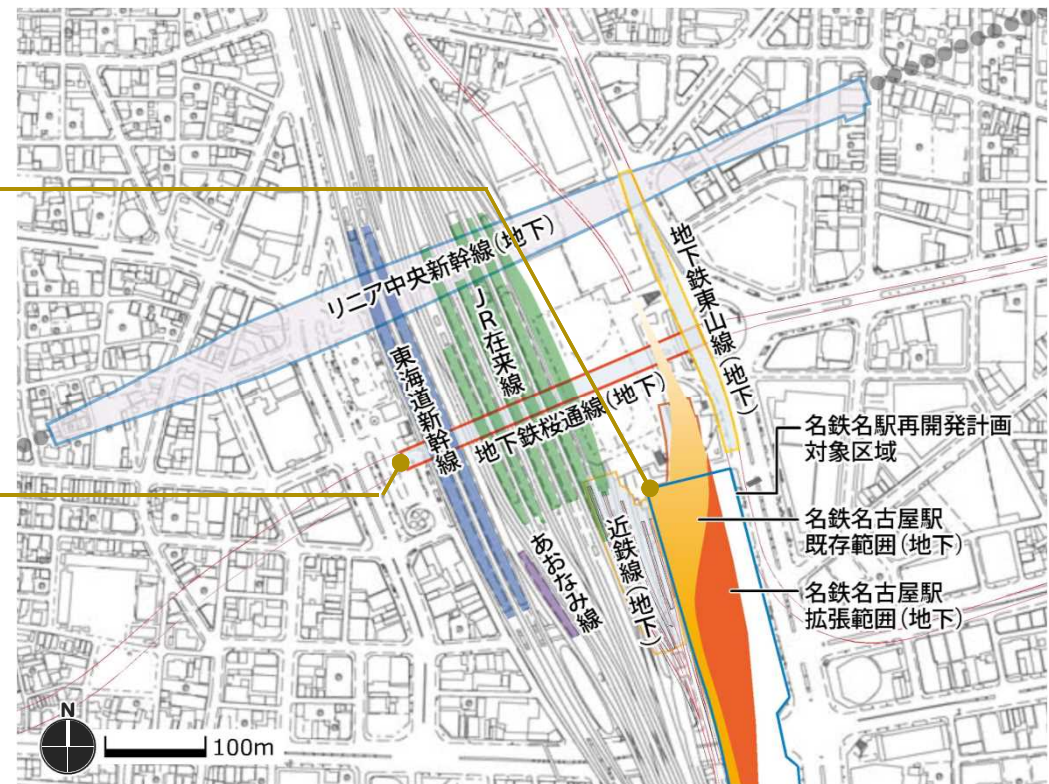
< 鉄道施設 >

名鉄名古屋駅の機能拡張

- ・ 中部国際空港へのアクセス向上
- ・ 地域交通拠点の形成

鉄道の利用促進・施設の改良

- ・ リニア効果を広く栄地区等に展開
- ・ 現状の駅構造を活かした施設の改良などにより、乗換等の利便性・快適性の向上



5 実現に向けた主な取組

交通基盤

駅とのアクセス性の向上

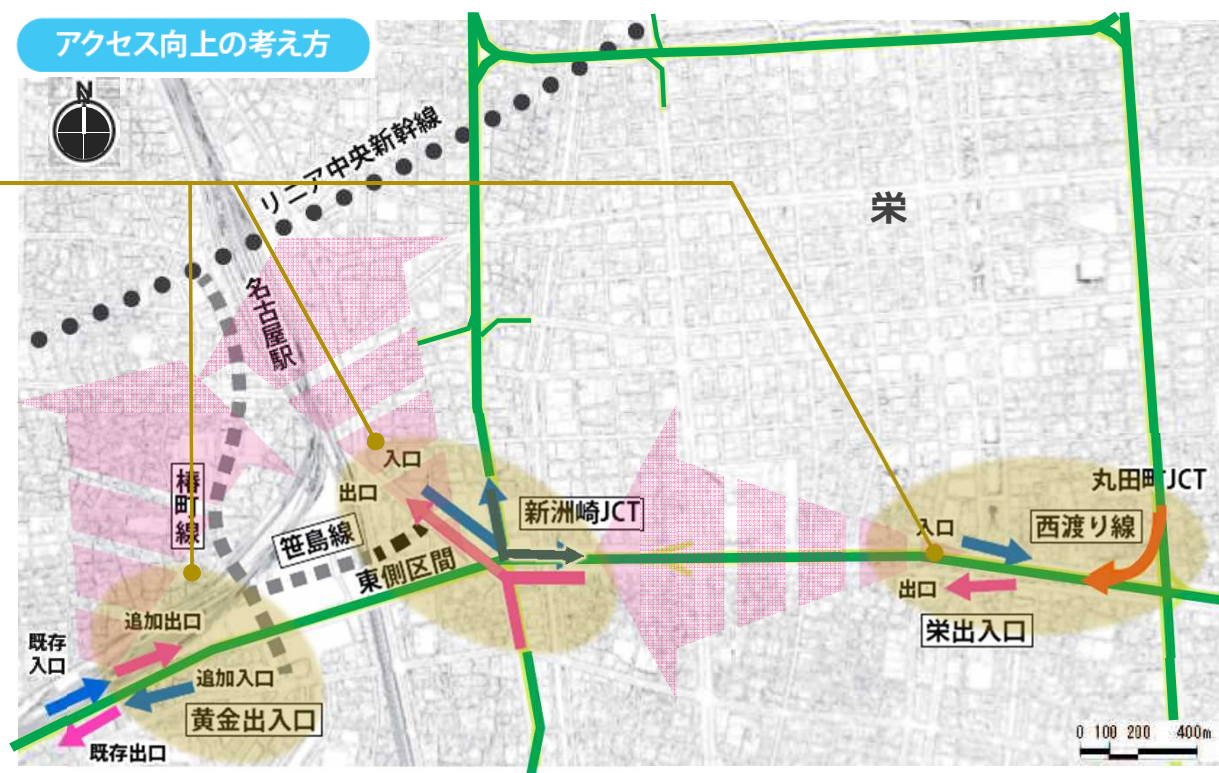
< 高速道路 >

高速道路出入口の追加・改良等

- ・名古屋駅周辺道路の交通の増大への対応、高速道路の渋滞緩和を図ることで、駅西側・東側方面から名古屋駅へのよりスムーズなアクセス向上を図る

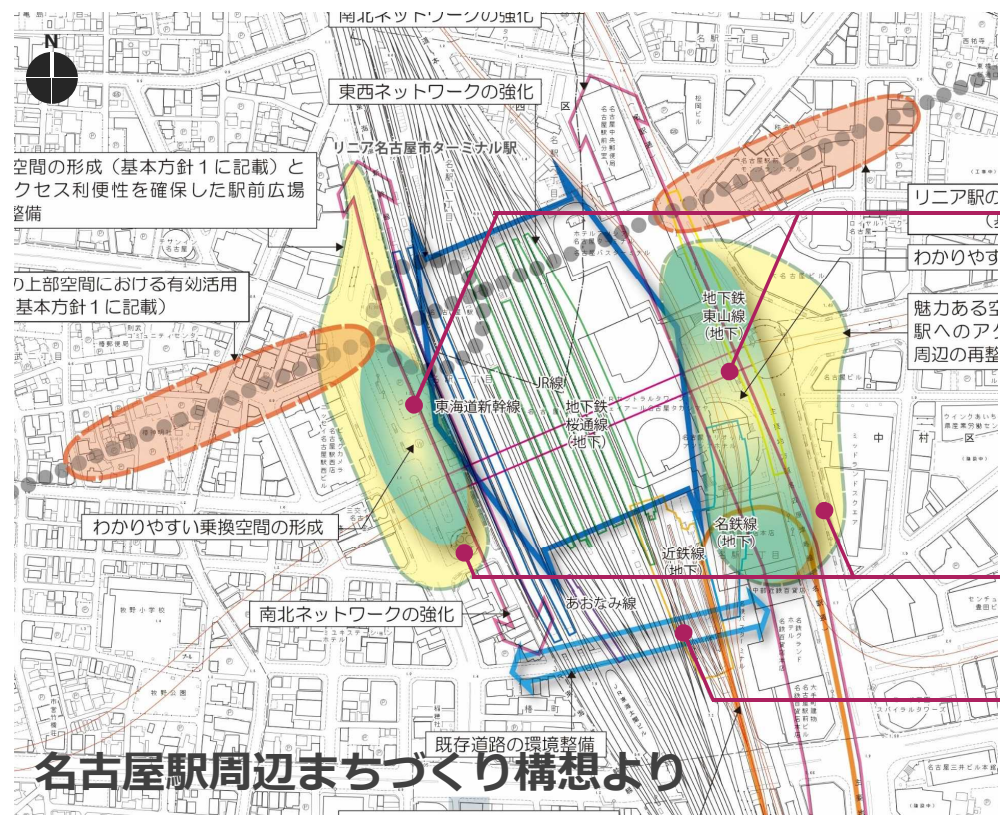
駅周辺に集中する交通の分散

- ・駅周辺の都市計画道路の整備



5 実現に向けた主な取組

交通基盤



ターミナルスクエアの整備

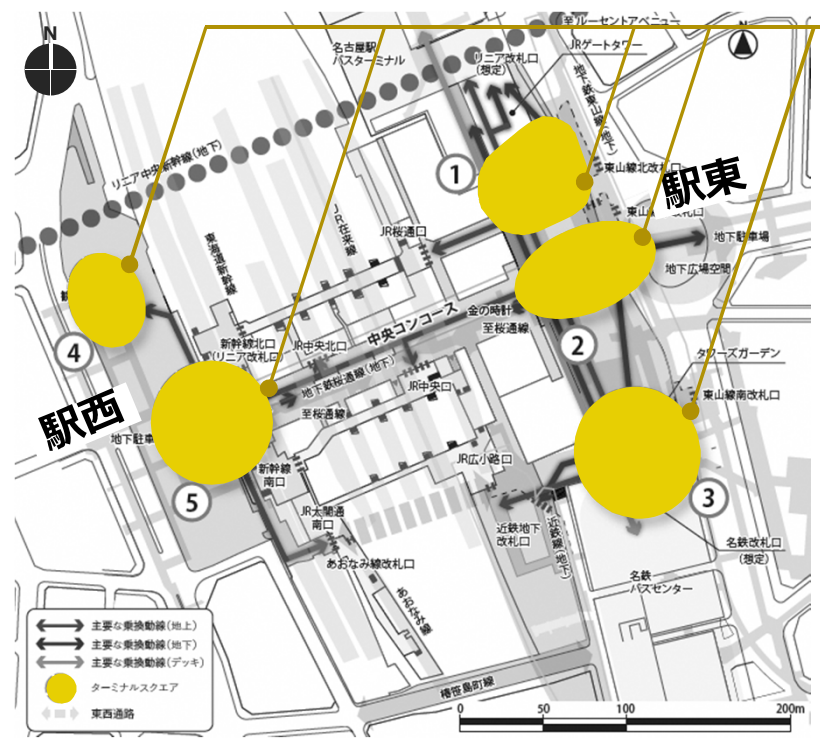
駅前広場の整備

新たな東西通路の整備

5 実現に向けた主な取組

交通基盤

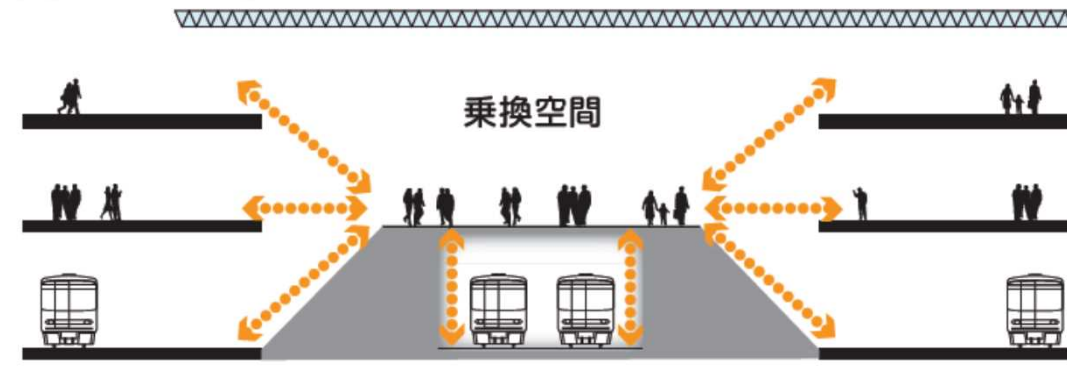
ターミナルスクエアの整備



ターミナルスクエア

動線が交差する場所で、以下の要素を備えた広場空間を形成

- ・乗換先が一目で見渡せる
- ・上下移動が円滑にできる
- ・案内機能を備えている

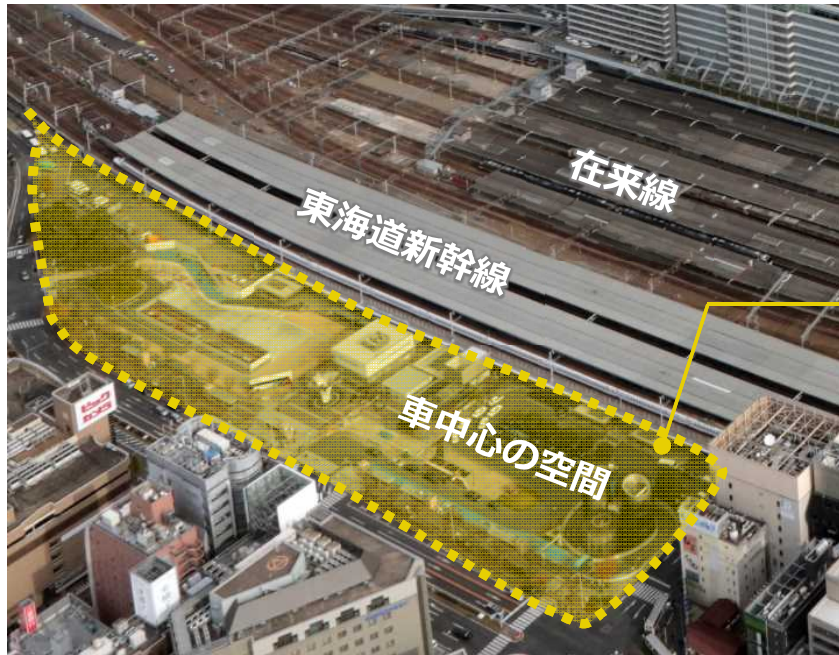


5 実現に向けた主な取組

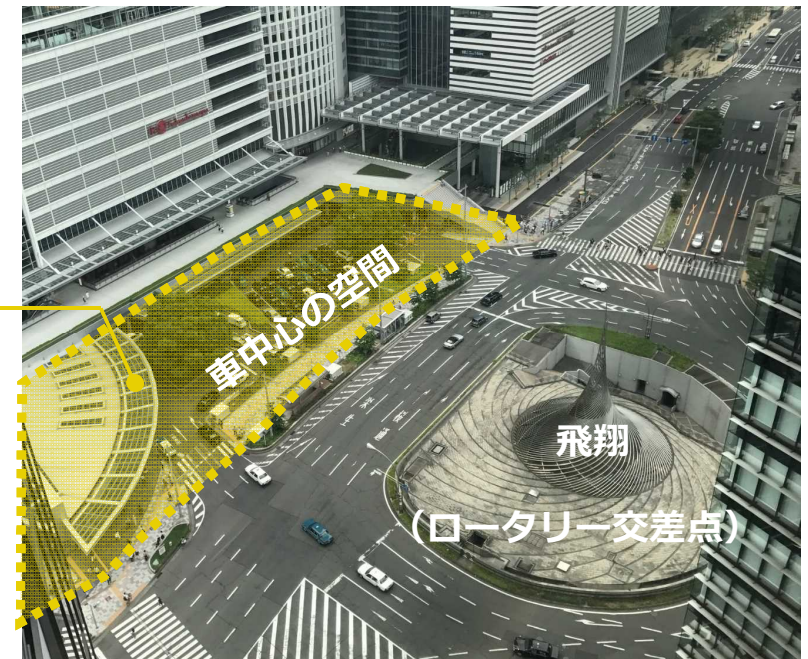
交通基盤

駅前広場の整備(現状)

名古屋駅西側駅前広場



名古屋駅東側駅前広場



都市計画区域

5 実現に向けた主な取組

交通基盤

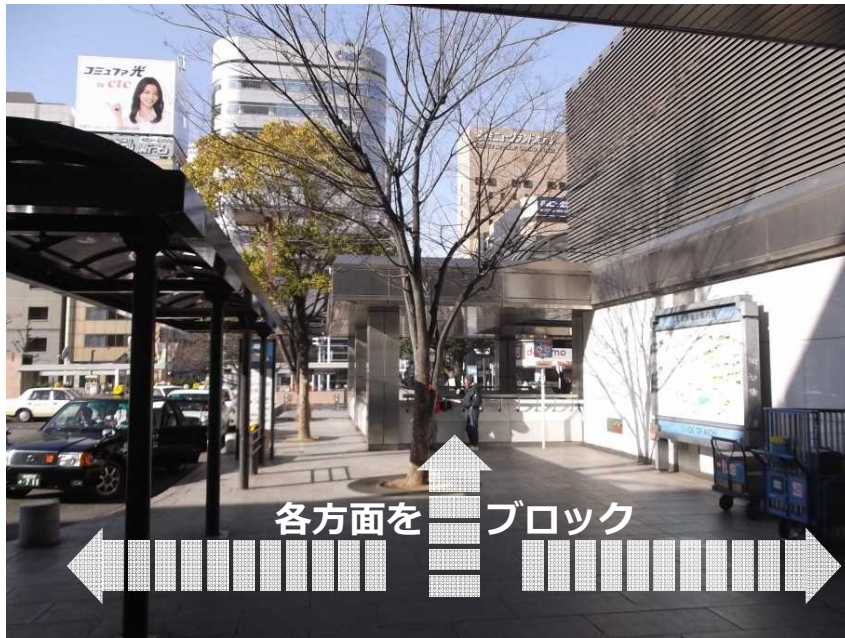
駅前広場の整備（東側）



5 実現に向けた主な取組

交通基盤

駅前広場の整備（西側）



5 実現に向けた主な取組

交通基盤

象徴的な空間の形成

ターミナル駅にふさわしく統一感のある質の高い象徴的な空間形成を実現するため、関係者間で目指していくデザインの方向性を指針としてとりまとめ、トータルなデザインに配慮した空間を形成

トータルデザイン指針(案)*

原則 1 名古屋らしい近未来のデザインを目指す

- 1 リニア時代を感じさせる空間となっているか
- 2 良質ストックを積み重ねているか
- 3 地上を楽しく歩けるまちをデザインしているか

原則 2 活気ある駅周辺とまちのデザインを目指す

- 4 駅と駅前空間を中心にまちへ魅力・活気を広げているか
- 5 楽しめる空間をデザインしているか
- 6 市民の活動・愛着を生み継続する仕組みをデザインしているか

原則 3 わかりやすくユニバーサルなデザインを目指す

- 7 安心できる空間となっているか
- 8 コミュニケーションをデザインしているか
- 9 人の流れと滞留をデザインしているか

5 実現に向けた主な取組

交通基盤

防災機能の強化

震災時の帰宅困難者対策

名駅の帰宅困難来訪者数**4.2万人**

→都市再生安全確保計画にて
官民連携で一体的な取組

来訪者 3.8万人
(買い物・出張等)

**戻ることが不可能な
滞在者 0.4万人**

滞在者 4.3万人
(従業者・通学者)

浸水対策

名古屋中央雨水調整池

平成36年度
稼働予定

名古屋駅前ポンプ所

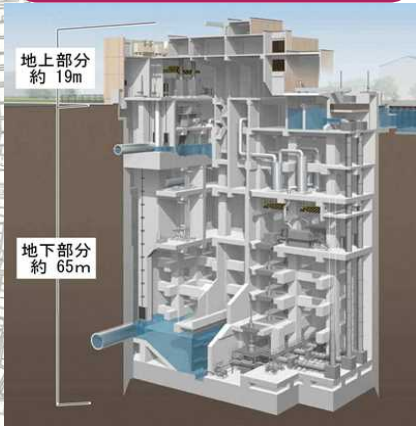
増設予定



護岸改修・河床掘削

100mm/h
安心プラン登録

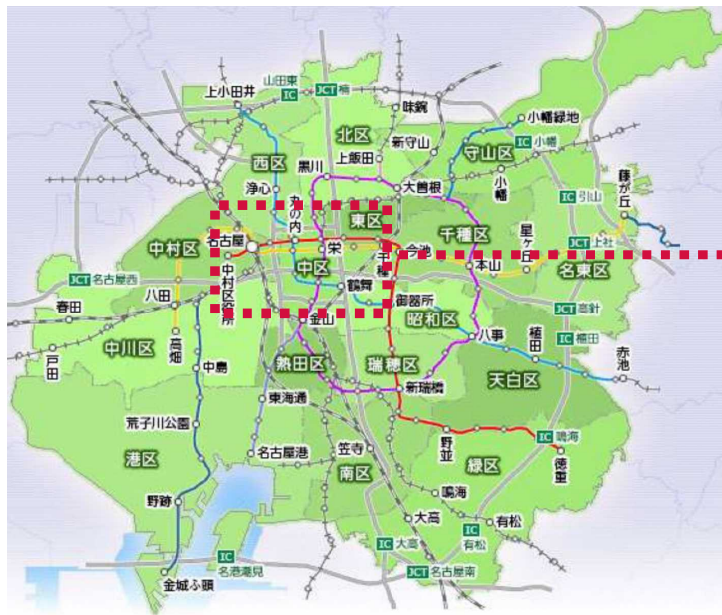
広川ポンプ所



5 実現に向けた主な取組

まちづくり

都心部の再開発の動向



5 実現に向けた主な取組

まちづくり

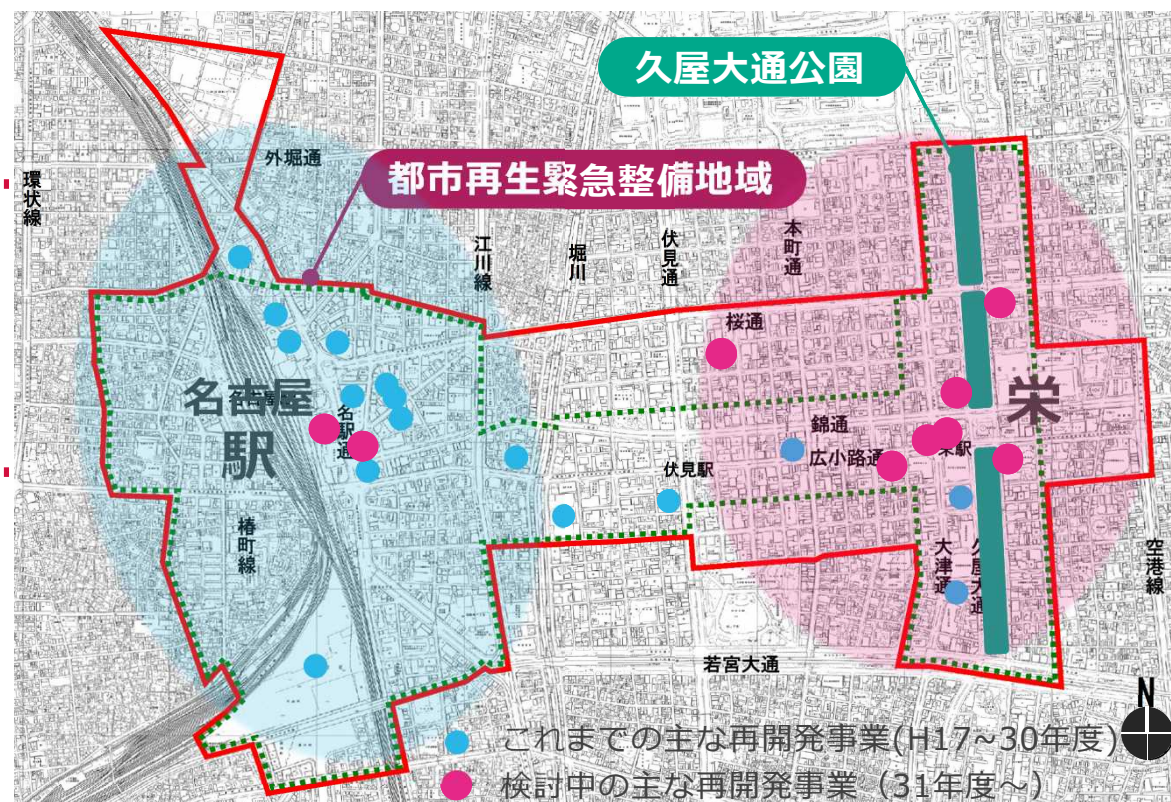
都心部の再開発の動向

容積率緩和による都市機能の誘導

- ・ 面的な容積率緩和制度の活用
- ・ 指定容積率の見直し

開発に係る規制の見直し

- ・ 地下街接続基準
- ・ 駐車場附置義務制度
- ・ 環境影響評価の規模要件



5 実現に向けた主な取組

まちづくり

Park-PFIによる栄・久屋大通公園の再生

改正都市公園法（平成29年）で創設された「Park-PFI制度」を活用し、久屋大通公園で民間主体の整備や管理運営により、栄地区の賑わいのシンボルとなる空間を目指す

<全体コンセプト>

久屋大通公園を名古屋の「**サステナブルな発展を底支えるインフラ**」へと再生し、日本最大のPark-PFI事業にふさわしい、**発信力のある公園**を創出



5 実現に向けた主な取組

まちづくり

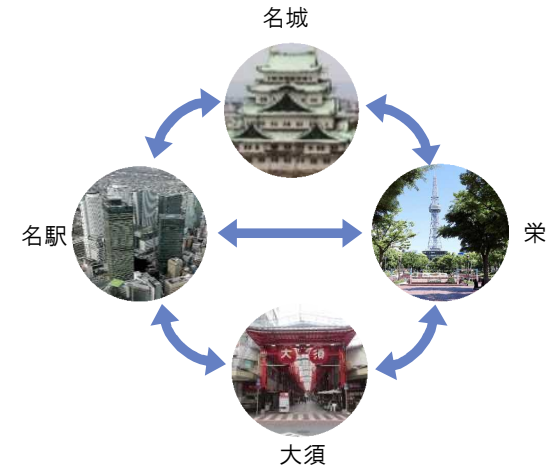
新たな路面公共交通システムの導入検討

都心での交流を拡大させるインフラとして、歩いて楽しい空間づくりと一体的に、最先端で魅力的なタイヤベースの新たな路面公共交通システムの導入を検討

〈新たな路面公共交通システムのイメージ〉



〈運行エリアのイメージ〉



5 実現に向けた主な取組

まちづくり

ウォーターフロントの魅力向上 水辺空間の活用による魅力創出



5 実現に向けた主な取組

まちづくり

アジア競技大会の開催

<大会概要>

開催期間：2026年9月19日（土）～10月4日（日）
（リニア部分開業の前年）

実施競技：36競技（想定）

参加者数：大会関係者約1.5万人（想定）

観客数：約150万人(想定)

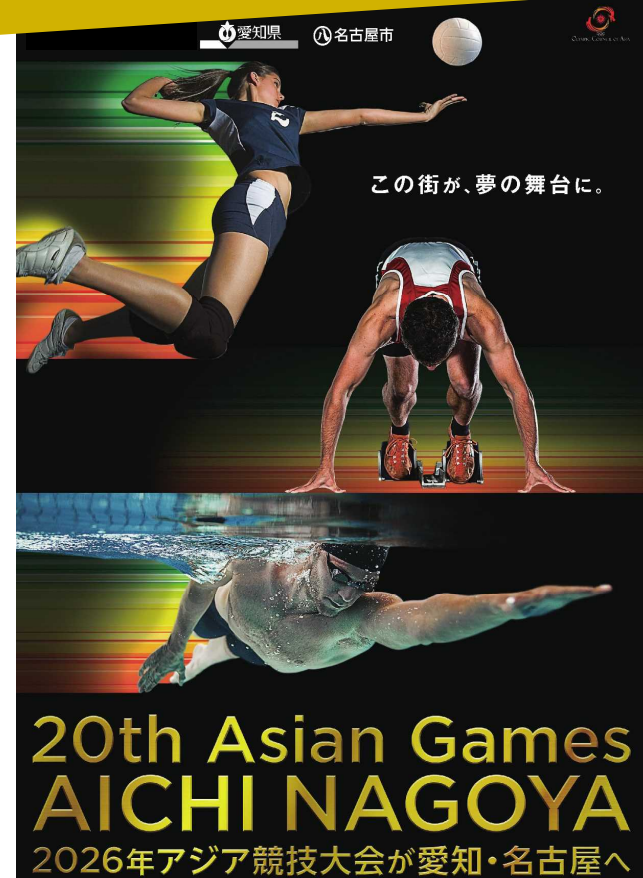
来年度策定予定のレガシー・ビジョンにおいて、アジア競技大会を契機として本市が目指すまちの姿を整理し、まちづくりを推進

【まちの姿1】
健康・地域活力

【まちの姿2】
誇り・魅力

【まちの姿3】
学び・国際理解

【まちの姿4】
大会モデル・先端技術



5 実現に向けた主な取組

イノベーション

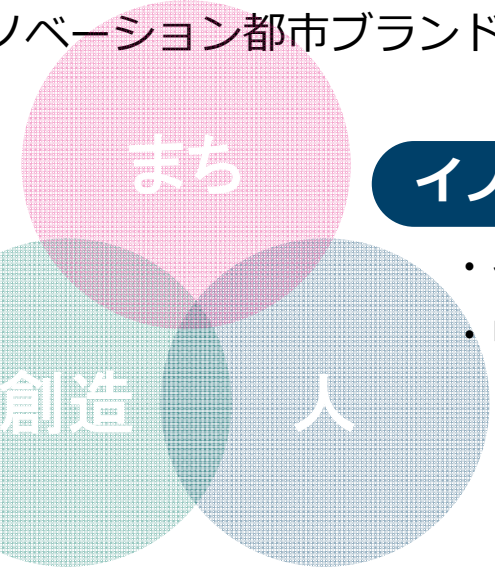
イノベーションの創出

イノベーション拠点の形成


- 都市政策と連携 
- ・イノベーション拠点の整備
 - ・イノベーション都市ブランドの発信

イノベーション活動の促進

- 経済界と連携 
- ・イノベーション活動の支援
 - ・AI・ICT等先端技術の活用



イノベーション人材の育成

- ・イノベーション人材の育成
 - ・中小企業の人材確保
- 



大学・専門学校と連携

5 実現に向けた主な取組

イノベーション

イノベーションの創出



5 実現に向けた主な取組

イノベーション

ロボット・AI・IoTの活用推進

ロボカップ2017 名古屋世界大会

平成29年7月開催

- ・参加者数 2,532人
(42か国・地域)
- ・来場者数 約13万人



RoboCup 2017
Nagoya Japan



Nagoya Robot and IoT Center (なごやロボット・IoTセンター)

平成30年3月OPEN @ 名古屋工業大学

- ・企業等からの問
合・相談対応
- ・ロボット、IoT等
の導入事例紹介
- ・展示設備の体験
- ・専門家の紹介
(SEからの専門的な
相談にも対応可)



⑥ まとめ

名古屋市はスーパー・メガリージョンのセンターとして、

日本・世界の成長をけん引する